

第4節

生活の基盤が整ったまちづくり

(都市基盤分野では、生活の基盤が整ったまちづくりを進めます。)

事 業 説 明 書

新規・継続

課所名 建設部 道路河川課

【事業名】 道路維持管理費				
【説明項目】 市道の維持管理費について				

【予算額】				
【21年度】	234,658 千円	【22年度】	267,400 千円	【増減額】 32,742 千円
1 事業の目的				
<p>道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラであり、市民の安全な通行を図るためには、維持管理は大変重要である。</p> <p>このことから、市道の適正な維持管理を実施することを目的に本事業を実施するものである。</p>				
2 事業の目標				
<p>道路パトロールにより発見された損傷箇所や市民からの苦情及び通報による損傷箇所を迅速に修繕し、市民の安全を図る。</p> <p>市道路線数6,541路線、市道延長3,193kmについて適切な維持管理を行う。</p>				
3 事業の概要				
◇ それぞれの地域において道路パトロールを強化し、市民の要望に対し迅速に対応して道路の舗装、側溝等の修繕を行う。				
◇ 「既存道路の機能の充実」を図ることを目的に前年度予算額の14%増の予算額により、さらにきめ細かな道路の維持管理に努める。				
◇ 各地域ごとの予算額は、「道路の面積90%」「道路の延長10%」を基準に配分を行っている。				
◇ 地域別の予算額及び事業の概要				
地域	平成22年度予算額	事業の概要		
大曲	96,444 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
神岡	21,169 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
西仙北	35,580 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
中仙	28,767 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
協和	26,260 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
南外	15,580 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
仙北	22,351 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕 集落内道路舗装		
太田	21,249 千円	舗装、側溝、街路灯などの維持修繕		
計	267,400 千円			
4 財源内訳				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
267,400			272	267,128

事 業 説 明 書

新設・継続

課所名 建設部 道路河川課

【事業名】 道路改良事業費 【説明項目】 市道の改良事業費について																																		
【予算額】 【21年度】 173,126 千円 【22年度】 183,000 千円 【増減額】 9,874 千円																																		
1 事業の目的 <p>道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラであり、幹線道路については、公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図り、生活道路については、安全性・快適性を確保することを目的とする。</p>																																		
2 事業の目標 <p>市道延長3,193kmのうち、未改良延長が1,297km、未舗装道路延長が1,422kmである。平成21年度の道路改良率は59.37%、舗装率は50.96%となっており、実施計画で定めている平成27年度の目標値が改良率61.30%、舗装率が55.60%であることから、年次計画により改良・舗装工事を進め、目標値の達成を図る。</p>																																		
3 事業の概要 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 道路改良、舗装改良、側溝改良について工事を実施するとともに、その他に測量試験、用地買収、物件補償等を行う。 ◇ 「道路整備に関する指針」を定め、小集落内道路、集落内道路、幹線道路、主要幹線道路のそれぞれの整備方針に基づき、主に幅員について基準を設けて今後の整備を図るものとする。 ◇ 各地域への配分に当たっては「合併前3年間の道路予算の割合」「市道延長の割合」「市道のうち未改良延長の割合」に加え本年度から「人口の割合」を新たな項目に加え配分を行っている。 ◇ 地域別の予算額及び事業の概要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">地域</th> <th style="width: 20%;">平成22年度予算額</th> <th style="width: 70%;">事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大曲</td> <td style="text-align: right;">42,790 千円</td> <td>市道20路線の改良、舗装、側溝工事等</td> </tr> <tr> <td>神岡</td> <td style="text-align: right;">14,380 千円</td> <td>市道3路線の改良、側溝工事等</td> </tr> <tr> <td>西仙北</td> <td style="text-align: right;">13,312 千円</td> <td>市道4路線の舗装、側溝工事等</td> </tr> <tr> <td>中仙</td> <td style="text-align: right;">35,759 千円</td> <td>市道7路線の改良、舗装工事等 辺地対策道路1路線</td> </tr> <tr> <td>協和</td> <td style="text-align: right;">20,955 千円</td> <td>市道5路線の改良、側溝工事等</td> </tr> <tr> <td>南外</td> <td style="text-align: right;">26,780 千円</td> <td>市道2路線の改良、側溝工事等 過疎対策道路1路線</td> </tr> <tr> <td>仙北</td> <td style="text-align: right;">15,282 千円</td> <td>市道3路線の改良、舗装工事等</td> </tr> <tr> <td>太田</td> <td style="text-align: right;">13,742 千円</td> <td>市道3路線の舗装工事等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">183,000 千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 					地域	平成22年度予算額	事業の概要	大曲	42,790 千円	市道20路線の改良、舗装、側溝工事等	神岡	14,380 千円	市道3路線の改良、側溝工事等	西仙北	13,312 千円	市道4路線の舗装、側溝工事等	中仙	35,759 千円	市道7路線の改良、舗装工事等 辺地対策道路1路線	協和	20,955 千円	市道5路線の改良、側溝工事等	南外	26,780 千円	市道2路線の改良、側溝工事等 過疎対策道路1路線	仙北	15,282 千円	市道3路線の改良、舗装工事等	太田	13,742 千円	市道3路線の舗装工事等	計	183,000 千円	
地域	平成22年度予算額	事業の概要																																
大曲	42,790 千円	市道20路線の改良、舗装、側溝工事等																																
神岡	14,380 千円	市道3路線の改良、側溝工事等																																
西仙北	13,312 千円	市道4路線の舗装、側溝工事等																																
中仙	35,759 千円	市道7路線の改良、舗装工事等 辺地対策道路1路線																																
協和	20,955 千円	市道5路線の改良、側溝工事等																																
南外	26,780 千円	市道2路線の改良、側溝工事等 過疎対策道路1路線																																
仙北	15,282 千円	市道3路線の改良、舗装工事等																																
太田	13,742 千円	市道3路線の舗装工事等																																
計	183,000 千円																																	
4 財源内訳 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 20%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">183,000</td> <td></td> <td style="text-align: center;">128,800</td> <td></td> <td style="text-align: center;">54,200</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	183,000		128,800		54,200																				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																														
183,000		128,800		54,200																														

事業説明書

新規・継続

課所名 建設部 道路河川課

【事業名】 地域活力基盤創造交付金事業費(古四王際飯詰線)				
【説明項目】 地域活力基盤創造交付金事業費(古四王際飯詰線)について				

【予算額】				
【21年度】	31,946 千円	【22年度】	49,969 千円	【増減額】 18,023 千円
1 事業の目的				
美郷町六郷地域と大曲市街地、国道13号大曲バイパス及び秋田自動車道大曲インターチェンジを結ぶ幹線道路の整備を行うことを目的とする。				
2 事業の目標				
平成22年度において国道13号大曲バイパスとの取付部192mの改良舗装工事を実施し、年度末には全線が供用開始できるようにする。				
3 事業の概要				
◇ 平成18年度から事業に着手し、平成18年度には用地測量及び路線測量等を、平成19年度は用地買収及び物件補償を、平成20年度には道路改良工事、平成21年度から舗装工事等を行い、平成22年度に国道13号バイパスとの取付工事を行い完了の予定である。				
◇ 路線の概要				
・全体延長	L=350m			
・計画幅員	W=11.5m			
・総事業費	156,000千円 (平成21年度までの事業費 104,000千円)			
・事業期間	平成18年度～平成22年度			
・平成22年度の事業内容	改良舗装工事 L=192m			
◇ 平成22年度事業費	工事請負費等	49,969千円	人件費	2,031千円 計 52,000千円 (人件費は、別途計上)
4 財源内訳				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
49,969	29,741	19,100		1,128

事 業 説 明 書

新規・継続

課所名 中仙総合支所 建設課

【事業名】 地域活力基盤創造交付金事業費(中仙4号線)					
【説明項目】 地域活力基盤創造交付金事業費(中仙4号線)について					

【予算額】					
【21年度】	2,850 千円	【22年度】	165,100 千円	【増減額】	162,250 千円
1 事業の目的					
<p>中仙南部の鑓見内地区の国道105号線と清水地区の「ふるさと農道」を結ぶ幹線道路であり、JR田沢湖線の鑓見内駅を利用する通勤・通学者の交通安全を図るとともに、大曲地域と仙北市角館地域を結ぶ幹線道路の整備を行うことを目的とする。</p>					
2 事業の目標					
<p>事業箇所にかかる館の内橋（1級河川北川）について、これまで橋りょうで架け替え工事を行う計画であったが、仙北地域振興局との協議によりボックスによる施工が可能となり、これにより橋りょうの架け替え事業費が概ね2億8千万円から1億5千万円と1億3千万円の減額となる予定である。</p> <p>平成22年度に函渠工工事を実施して事業を完了させ、供用開始することを目標とする。</p>					
3 事業の概要					
◇ 平成17年度から事業に着手しており、国道105号から「ふるさと農道」までの675mのうち、橋りょうの架け替えとその前後の取付を残すだけとなっている。					
<p>橋りょうから函渠工に変更することで、事業費の縮減を図り、平成22年度に完了し、供用開始を図る。</p>					
◇ 路線の概要					
・全体延長	L=675m				
・計画幅員	W=9.75m				
・総事業費	279,700千円（平成21年度までの事業費 113,000千円）				
・事業期間	平成17年度～平成22年度				
・平成22年度の事業内容	函渠工工事				
◇ 平成22年度事業費 工事請負費等 165,100千円 人件費 1,600千円 計 166,700千円（人件費は、別途計上）					
4 財源内訳					
(単位：千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
165,100	98,820	46,300		19,980	

事 業 説 明 書

新規・継続

課所名 建設部 道路河川課

【事業名】 地域活力基盤創造交付金事業費(愛宕下・浮島・合貝跨線橋)				
【説明項目】 秋田新幹線に架かる跨線橋の落橋防止工事について				
【予算額】				
【21年度】	20,000 千円	【22年度】	20,000 千円	【増減額】 0 千円
1 事業の目的 大規模地震により秋田新幹線に架かる跨線橋が落橋した場合、二次的被害が大きいと予想されることから、耐震補強を重点的に実施するため、落橋防止工事を行うことを目的とする。				
2 事業の目標 秋田新幹線に架かる橋りょうのうち、昭和55年道路示方書より古い基準を適用している橋りょうについて、耐震補強調査を行い、調査に基づき耐震補強を実施する。 大仙市管内では西仙北地域の愛宕下跨線橋・浮島跨線橋と協和地域の合貝跨線橋が対象となっており、平成19年度に概略設計を行い、平成20年度にはJ R 東日本に委託し、詳細設計を行っている。 報告書では3橋とも耐震補強は必要無いとの報告を受けていることから、平成21年度では、合貝跨線橋について、J R 東日本に委託して落橋防止工事を行っている。平成22年度は、西仙北地域の愛宕下跨線橋の落橋防止工事を行い、平成23年度は浮島跨線橋で同じく落橋防止工事を実施して耐震補強工事を完成させることを目標とする。				
3 事業の概要 ◇ 平成19年度から事業着手しており、平成19年度は概略設計を行い、平成20年度はJ R 東日本に詳細設計を委託し、平成21年度はJ R 東日本に落橋防止工事を委託している。平成22年度も引き続き、J R 東日本に落橋防止工事を委託する。 ◇ 事業箇所概要 西仙北地域 ◎愛宕下跨線橋（平成22年度実施） 橋長 52.0m / 幅員 9.3m / 鋼橋 / 昭和56年架設 ◎浮島跨線橋（平成23年度実施予定） 橋長 37.7m / 幅員 4.6m / 鋼橋 / 昭和59年架設 協和地域 ◎合貝跨線橋（平成21年度実施） 橋長 15.3m / 幅員 6.0m / 鋼橋 / 昭和47年架設				
4 財源内訳				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
20,000	12,000			8,000

事業説明書

新規・継続

課所名 建設部 道路河川課

<p>【事業名】 地方特定道路整備事業費(宮林線) 【説明項目】 地方特定道路整備事業費(宮林線)について</p>														
<p>【予算額】</p>														
【21年度】	30,700千円	【22年度】	19,000千円	【増減額】 △11,700千円										
<p>1 事業の目的</p> <p>内小友地域を東西に走る宮林線は地域住民の重要な道路であり、宮林地域から内小友小学校・大曲西中学校に通う小中学生の通学路にもなっている路線である。 しかしながら、幅員が5.0mと狭く、歩道も設置されていないことから、歩行者にとっては、非常に危険な状況にあるため、歩道の設置と拡幅工事を行い、安全確保を図ることを目的とする。</p>														
<p>2 事業の目標</p> <p>用地買収及び物件補償が終了している起点側（内小友小学校グラウンド横）の道路改良と内小友公民館の東側を流れる山城堰に架かるボックスの掛け替えを平成21年度に実施しており、平成22年度は、終点側の物件補償と改良工事を実施し、平成23年度の事業完了を目標とする。</p>														
<p>3 事業の概要</p> <p>◇ 平成18年度より事業に着手しており、平成18年度は用地測量及び路線測量等を実施、平成19年度には用地買収・物件補償及び地質調査を行い、平成20年度に用地買収・物件補償及び排水路工事を実施し、平成21年度には起点側の改良と用地買収を実施している。 平成22年度は、物件補償・改良工事を行い、平成23年度に全線の舗装を行い完了する予定である。</p> <p>◇ 平成21年度2月補正予算において、「大仙市経済・雇用・生活対策本部」の第2次行動計画に基づき、41,000千円分の債務負担行為を設定し、事業の促進を図っている。 なお、予算は別途「地方特定道路整備事業費（宮林線）（債務負担行為分）」として計上している。</p> <p>◇ 路線の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長 L=1,112m ・計画幅員 W=10.0m 歩道幅員W=2.5m ・総事業費 252,700千円（平成21年度までの事業費 115,700千円） ・事業期間 平成18年度～平成23年度 ・平成22年度の事業内容 物件補償・改良舗装L=535m 														
<p>4 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">19,000</td> <td></td> <td style="text-align: center;">17,100</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,900</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	19,000		17,100		1,900
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
19,000		17,100		1,900										

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 企画部 総合政策課

【事業名】	地域公共交通システム運行事業費				
【説明項目】	地域で支え合う交通システムの構築について				
【予算額】					
【21年度】	15,038 千円	【22年度】	18,920 千円	【増減額】	3,882 千円

1. 事業の目的

過疎化・少子高齢化が急速に進む中、“生活の足”の確保が喫緊の課題となっている。このような中、市民コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行を行い、地域で支え合う新たな地域公共交通事業を推進し、路線バス廃止に伴う代替や交通空白地域の解消を図り、市民の生活利便性の確保・向上を目指すものである。

2. 事業の目標

平成19年度で作成した「大仙市の新しい地域公共交通計画」に基づき、平成22年度においても、市民コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーなど地域に即した公共交通システムの運行を行うこととしている。また、新たに路線バスが廃止される3地域でその代替交通として、乗合タクシーを実証運行する。

3. 事業の概要

●運行事業費

区分	利用者負担	車両	地区	路線名	起点・終点	運行日	停留所	距離	運行経費 (千円)	利用人数 (H20)	乗合率 (H20)
バス路線廃止 乗合タクシー	500円	セダン型	西仙北	強首	防災ST⇄刈和野駅	通年	11	10.7km	1,556	1,107	1.71
			仙北	板見内	寺村⇄大曲	通年	6	8.4km	2,047	768	1.44
				上野田	上野田⇄大曲		8	9.1km		291	1.20
空白地域解消 乗合タクシー	500円	セダン型	大曲	内小友	山王堂⇄大曲	冬期	13	8.3km	929	282	1.45
				四ツ屋	新屋敷⇄大曲		11	7.0km		98	1.53
				松倉	鷹の巣⇄大曲		5	11.9km		206	1.58
				大野線	大野⇄支所		8	5.9km		110	1.02
			神岡	関金線	関金⇄支所	週2回	7	5.5km	1,061	213	1.26
				八石線	二太子沢⇄支所		5	6.8km		127	1.01
				宇船線	船戸⇄支所		4	8.1km		24	1.04
			南外	西板戸	西板戸⇄神岡支所	週2回	5	7.5km	444	65	1.02
				大杉	大杉⇄神岡支所		7	9.8km		21	1.00
				赤平後野	赤平後野⇄神岡支所		5	9.2km		10	1.00
市民コミュニティバス	200円	中型バス	太田	10路線	宮羽⇄診療所 ほか	1日2便 週1回	108	—	8,562	4,870	5.09
バス路線廃止 乗合タクシー 実証運行	500円	セダン型	西仙北	土川線	杉沢⇄刈和野駅	通年	15	13.4km	984	—	—
				心像線	鬼頭⇄刈和野駅		12	13.6km	984	—	—
			協和	船沢線	羽後境⇄和田駅		7	11.2km	1,476	—	—
※運行費負担金については、各地域（支所）において予算要求する。								合計	18,043	8,192	—

●地域交通に係る国・県協議	27 千円
●地域公共交通計画書印刷費	315 千円
●乗合タクシー利用証紙、ステッカー代等	65 千円
●乗合タクシー登録用及びアンケート調査郵便料	144 千円
●乗合タクシー・コミュニティバス運行負担金	15,996 千円
●大仙市地域公共交通活性化再生協議会負担金	326 千円
合計	16,873 千円

4. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
16,873	1,071			15,802

事 業 説 明 書

新規

・ 継続

課所名 建設部 都市計画課

【事業名】 まちづくり交付金事業費（大曲駅周辺地区）（補助分）
 【説明項目】 まちづくり交付金事業費（大曲駅周辺地区）（補助分）について

【予算額】

【21年度】 176,140 千円 【22年度】 350,870 千円 【増減額】 174,730 千円

1 事業の目的

- 中心市街地のにぎわいの再生（土地区画整理事業による魅力ある街並みの形成により、にぎわいを再生する。）
- 大曲駅周辺地区の定住人口の増加（駅東地区の生活基盤施設の整備により、魅力ある住環境を創り、定住人口の増加を促進する。）
- 交通結節機能の強化により利便性向上を図る。

2 事業の目標

幹線道路（駅東16号線・福田西線）を整備することにより、街路（関連事業による駅東線、主要事業による花園線）の交通結節点としての機能を支援する。

しあわせ公園・地域交流センター等の施設を整備し、地区内の良好な住環境整備を誘導する。

駅東16号線は平成21年10月に供用開始済、福田西線は平成22年11月に供用開始予定、しあわせ公園・地域交流センターは平成22年12月に供用開始予定となっている。

22年度が事業最終年度となっており、翌年度にフォローアップを予定している。

3 事業の概要

- 事業期間：平成18年度～平成22年度（5カ年）
- 概算事業費：C=758,000千円（土地区画含ΣC=3,080,500千円）
- 平成22年度事業内容 C=350,870千円（人件費11,130千円を除く）
 - ・ 福田西線 L=242m W=8m
 - 道路改良工事 22,916千円
 - 道路舗装工事 6,456千円
 - ・ しあわせ公園 44,578千円
 - 施設工事 A=3,000㎡
 - ・ 地域交流センター新築 A=1,200㎡ H21・22継続事業
 - 建築工事 263,713千円
 - 設計監理委託 660千円
 - 工事監理委託 3,395千円
 - ・ 提案事業
 - 事業効果分析 2,982千円
 - ・ 事務費 17,299千円
 - 旅費、公用車ガソリン、消耗品、電話料、コピー機賃借料等

4 財源内訳

（単位：千円）

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
350,870	129,480	204,600		16,790

事業説明書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 土地区画整理事務所

【事業名】 大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（補助分）				
【説明項目】 大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（補助分）について				

【予算額】				
【21年度】	985,000千円	【22年度】	714,600千円	【増減額】 △270,400千円
1. 事業の目的				
<p>本地区は市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されているが、公共施設の整備の遅れから土地の利用状況が極めて悪く、新幹線開通による交通の利便性や商業交流拠点地区の地区特性を十分活用していない状況であり、早急な基盤整備が望まれる地区である。</p> <p>このため、土地区画整理事業により、道路、水路及び公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全を確保することにより、賑わいのある商店街の形成や、宅地利用の増進など中心市街地の再生を図るものである。</p>				
2. 事業の目標				
22年度末事業進捗率85.7%（25,525,657千円／29,800,000千円（見直し案の総事業費））				
3. 事業の概要				
施行地区面積 25.7ha 総事業費25,930百万円（29,800百万円：見直し案の総事業費） 施工期間 平成元年度～24年度（27年度まで延伸予定）				
22年度の事業概要				
補償費 445,712千円 建物移転補償費等10戸 本工事費 244,600千円 中通線新設工事（黒瀬町側L=80m）、通町線新設工事（L=66m） 区画道路新設工事（40号）L=約100m、33街区整地工事（通町地区） A=約1,100㎡ 20街区整地工事（黒瀬町地区） A=約1,350㎡				
換地諸費・事務費 34,288千円 仮換地指定、街区画地確定測量業務委託等				
(金種別内訳)				
・通常費 19,300千円 ・地活交 461,000千円 ・まち交 244,300千円				
補助事業費計 724,600千円 （人件費10,000千円含む）				
4. 財源内訳				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
714,600	375,246	289,100		50,254

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 土地区画整理事務所

【事業名】	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（単独分）			
【説明項目】	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（単独分）について			
【予算額】				
【21年度】	129,444千円	【22年度】	71,909千円	【増減額】 △57,535千円
1. 事業の目的				
<p>本地区は市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されているが、公共施設の整備の遅れから土地の利用状況が極めて悪く、新幹線開通による交通の利便性や商業交流拠点地区の地区特性を十分活用していない状況であり、早急な基盤整備が望まれる地区である。</p> <p>このため、土地区画整理事業により、道路、水路及び公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全を確保することにより、賑わいのある商店街の形成や、宅地利用の増進など中心市街地の再生を図るものである。</p>				
2. 事業の目標				
22年度末事業進捗率 85.7%（25,525,657千円／29,800,000千円（見直し案の総事業費））				
3. 事業の概要				
施行地区面積 25.7ha 総事業費25,930百万円（29,800百万円：見直し案の総事業費） 施工期間 平成元年度～24年度（27年度まで延伸予定）				
22年度の主な事業概要				
補償費 15,305千円 土地損失補償・仮住居補償・営業補償等 用地費 48,042千円 減価補償金				
4. 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
71,909		45,600		26,309

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 土地区画整理事務所

【事業名】 住宅市街地総合整備事業費 【説明項目】 住宅市街地総合整備事業費について														
【予算額】 【21年度】 105,000千円 【22年度】 135,500千円 【増減額】 30,500千円														
1. 事業の目的 <p>大花町地区は老朽住宅が密集しているため、区画整理事業の施工には一時的な集団移転を行う必要がある。このため、この移転対象者のために「都市再生住宅」を建設し、あわせて、同地区において下水道・防火水槽、児童遊園等を整備し居住環境の向上を図るものである。</p>														
2. 事業の目標 22年度都市再生住居入居率67.3%（35戸／52戸）														
3. 事業の概要 施行地区面積 6.36ha（大花町、大曲黒瀬町地区の一部） 総事業費2,635百万円 施工期間 平成15年度～24年度 都市再生住宅 52戸 7階建 RC造 老朽建築物除却 37戸 下水道整備 L=1,869m 防火水槽2基 児童遊園 22年度の事業概要 補償費 134,381千円 老朽建築物除却1戸3棟 事務費 1,119千円														
4. 財源内訳 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">135,500</td> <td style="text-align: center;">67,190</td> <td style="text-align: center;">64,800</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3,510</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	135,500	67,190	64,800		3,510
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
135,500	67,190	64,800		3,510										

事 業 説 明 書

新規 ・ ① 継続

課所名 水道局 上水道課

【事業名】 上水道事業

【説明項目】 大曲橋架け替えに伴う水道施設整備事業について

【予算額】

【21年度】 120,980 千円 **【22年度】** 426,190 千円 **【増減額】** 305,210 千円

1. 事業の目的

秋田県が施行する大曲橋架け替え工事に伴い、金谷ポンプ場と付随する施設の移転が必要となることから、平成17年度から平成28年度の期間で移転整備を実施するもので、財源として秋田県からの補償金を見込んでいる。

なお、平成20年度までには移転用地の取得や、施設の詳細設計及び施設設備の移転整備に係る経営認可変更委託を実施、今年度は導水管の布設工事及び来年度予定する管理棟の建築確認申請を実施することとしている。

2. 事業の目標

県が実施する大曲橋架け替えに伴う金谷ポンプ場等の関連施設及び設備の移転等について、平成17年度から平成28年度までの継続事業として実施するものである。

3. 事業の概要

大曲橋架け替えに伴う水道施設整備事業

■ 営業費用 原水及び浄水費 委託料

1 既存導水管撤去申請書作成業務委託 1,575千円

■ 建設改良費 配水施設拡張改良費 委託料 2,615千円

1 管理棟・車庫棟建設工事管理業務委託

■ 建設改良費 配水施設拡張改良費 工事請負費

1 取水施設築造工事 98,000千円

・ 雄物川取水施設

2 管理棟・車庫棟建設工事 190,000千円

・ 管理棟及び車庫棟建築

・ 電気機械設備

・ 場内整備工事

3 取水施設機械電気設備工事 123,000千円

・ 機械設備、電気設備

4 導・配水管布設工事 11,000千円

・ 導水管 DIP・NS φ 250 L=111.7m

・ 配水管 DIP・NS φ 100 L=95.6m

4. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
426,190			257,389	168,801

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 水道局 上水道課

【事業名】 上水道事業

【説明項目】 配水施設拡張改良事業について

【予算額】

【21年度】 48,500 千円 **【22年度】** 61,370 千円 **【増減額】** 12,870 千円

1. 事業の目的

水量や水質に不安のある非公営簡易水道、小規模水道等の上水道未普及地区への配水管拡張整備を進めるとともに、既拡張区域における上水道への転換を促進し、普及率の向上と給水収益の確保により、経営基盤の安定化と安全で安心な水道水供給を図る。

2. 事業の目標

拡張事業により、未普及地域の解消と給水収益の確保による経営基盤の安定化を図るとともに、老朽化した配水管の更新や末端配水管の改良により濁り水の発生を予防し、安全で安心な水道水の安定供給を図る。

3. 事業の概要

配水施設拡張改良事業

■配水管布設工事 19,300千円

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1 内小友仙北屋地区配水管布設工事（経済対策事業） | L = 515.0 m |
| 2 福田町地区配水管布設工事 | L = 96.0 m |

■配水管改良工事 31,400千円

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1 福見町地区配水管改良工事（経済対策事業） | L = 337.5 m |
| 2 白金町地区配水管改良工事（経済対策事業） | L = 210.5 m |
| 3 下深井字相布地区配水管改良工事（経済対策事業） | L = 27.5 m |

■配水管移設工事 9,410千円

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1 下水道整備工事に伴う配水管移設工事 | L = 15.0 m |
| 2 大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事 | L = 185.0 m |

■その他改良工事 1,260千円

- | | |
|-----------------|------|
| 1 後次亜注入ユニット取付工事 | 1 箇所 |
|-----------------|------|

4. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
61,370			5,959	55,411

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 水道部 水道課

【事業名】 大沢郷地区簡易水道事業費						
【説明項目】 大沢郷地区簡易水道施設整備事業について						
【予算額】						
【21年度】 330,000 千円		【22年度】 353,281 千円		【増減額】		23,281 千円
1. 事業の目的						
<p>大沢郷地区の飲料水は、保水力の無い丘陵地帯の沢水に頼っているのが現状で、度々の渇水時には給水車の出動等に対応してきた。しかし、近年は病原菌や化学物質による水質の悪化も懸念されており早急な水道普及が求められている。</p> <p>この課題を解決するため簡易水道施設を整備し、清浄にして豊富低廉な水を供給することにより地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的とする。</p>						
2. 事業の目標						
<p>本施設整備事業は、平成19年度から平成23年度までの5カ年にわたる継続補助事業で、平成22年度で4年目を迎える。工事の実施進捗率は、計画より大幅に上回っており、未給水区域住民の早期給水の強い要請に応えるため、22年度6月頃を目処として、ほぼ全域への給水開始を可能とすることを目標に事業実施にあたる。</p>						
3. 事業の概要						
<p>本施設整備事業は、平成19年度から平成23年度までの5カ年にわたる継続補助事業である。平成22年度はその4年目に当たり、第2送水ポンプ設備、第2配水場及びこれら設備等の電気計装、配水管の布設並びに路面復旧に関する事業予算となっている。これら工事費合計は、継続費当年度分の348,858千円で、この他、成瀬ダム負担金865千円と、事業実施に必要な消耗品費を合わせ予算計上したものである。</p>						
継続費						
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体額
年度割金額	436,015千円	554,323千円	328,719千円	348,858千円	359,320千円	2,027,235千円
4. 財源内訳 (単位：千円)						
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源		
353,281	128,520	219,900	2,385	2,476		

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 水道部 水道課

<p>【事業名】 戸地谷地区簡易水道事業費</p> <p>【説明項目】 戸地谷地区統合簡易水道事業について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【21年度】 140,463 千円 【22年度】 225,349 千円 【増減額】 84,886 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>仙北地域は、既存の水源をすべて地下水に依存しており、近年、水源水質悪化や地下水の水量不足、未普及地域の解消等が喫緊の課題となっている。</p> <p>戸地谷地区はほとんどが飲料水を自家用井戸で賄っている地域であり、冬期間の水量不足も心配され、一刻も早い改善が望まれる。</p> <p>このことから、既設川前簡易水道、雇用促進住宅専用水道、上通り小規模水道を廃止するとともに、未普及地域も含め、戸地谷地区簡易水道事業として施設整備事業を実施し、清浄にして豊富低廉な水道水を供給することにより、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的とするものである。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>本施設整備事業は、平成19年度から4カ年にわたる継続補助事業で、平成22年度はその最終年度に当たる。</p> <p>平成19年度から平成21年度にかけて、取水施設、浄水施設、配水施設及び電気計装設備をそれぞれ整備しており、22年度は、配水管布設工事を実施し、同工事の早期完成と給水管接続工事の推進を図り、早期給水開始を目標とするものである。</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>平成22年度の事業計画は、補助事業が最終年度であり配水管布設工事を残すのみとなっている。工事の内訳は、配水管布設工事が総延長6,713.7m及び路面復旧工事一式で工事費204,219千円の予定である。また、消火栓設置工事（単独分）として4基で2,498千円を予定している。</p> <p>さらに、旧川前簡易水道加入者に対する給水管接続替え工事として72戸の工事費（単独分）17,325千円を予定し、事業実施に必要な事務費を合わせ、225,349千円の予算を計上したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体計画 950,354千円 ・ 計画期間 平成19～22年度 ・ 計画給水人口 1,200人 ・ 計画最大給水量 470m³/日 ・ 配水管総延長 14,099m ・ 浄・配水場、取水施設 一式 														
<p>4. 財源内訳 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>225,349</td> <td>68,200</td> <td>137,000</td> <td>2,000</td> <td>18,149</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	225,349	68,200	137,000	2,000	18,149
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
225,349	68,200	137,000	2,000	18,149										

事 業 説 明 書

新規 ・ ① 継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】 公共下水道事業費(補助分) 【説明項目】 公共下水道事業費(補助分)について																
【予算額】 【21年度】 224,760 千円 【22年度】 200,800 千円 【増減額】 △ 23,960 千円																
1 事業の目的 全国的な水準との格差がある下水道整備を進めることにより、地方でも進みつつある水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、市民の公衆衛生の向上を図り、併せて公共水域の水質の保全に資することを目的とする。これにより、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。																
2 事業の目標 公共下水道(公共下水道・特定環境保全公共下水道)の普及率は、平成20年度末現在で34.7%であり、平成23年度末に36.9%を目標とする。 (普及率=処理区域内人口32,033人÷住民基本台帳人口92,224人) ※大仙市全体の下水道(公共・特環・特排・農集・浄化槽)の普及率は70.1%(20年度末) (秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%)																
3 事業の概要 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 70%;">事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大曲地域</td> <td style="text-align: center;">112,400</td> <td>管渠工事L=1,069m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=1,736m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) (他に人件費分3,600千円)</td> </tr> <tr> <td>神岡地域</td> <td style="text-align: center;">88,400</td> <td>管渠工事 L=596m(北楯岡地内) (他に人件費分2,600千円)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">200,800</td> <td>(他に人件費6,200千円 合計207,000千円)</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	事業費	事 業 概 要	大曲地域	112,400	管渠工事L=1,069m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=1,736m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) (他に人件費分3,600千円)	神岡地域	88,400	管渠工事 L=596m(北楯岡地内) (他に人件費分2,600千円)	合 計	200,800	(他に人件費6,200千円 合計207,000千円)
区 分	事業費	事 業 概 要														
大曲地域	112,400	管渠工事L=1,069m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=1,736m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) (他に人件費分3,600千円)														
神岡地域	88,400	管渠工事 L=596m(北楯岡地内) (他に人件費分2,600千円)														
合 計	200,800	(他に人件費6,200千円 合計207,000千円)														
4 財源内訳 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 15%;">国県支出金</th> <th style="width: 15%;">市債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">200,800</td> <td style="text-align: center;">98,500</td> <td style="text-align: center;">91,900</td> <td style="text-align: center;">9,900</td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	200,800	98,500	91,900	9,900	500		
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源												
200,800	98,500	91,900	9,900	500												

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 下水道課

<p>【事業名】 公共下水道事業費(単独分)</p> <p>【説明項目】 公共下水道事業費(単独分)について</p>																
<p>【予算額】</p> <p>【21年度】 90,000千円 【22年度】 78,000千円 【増減額】 △12,000千円</p>																
<p>1 事業の目的</p> <p>全国的な水準との格差がある下水道整備を進めることにより、地方でも進みつつある水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、市民の公衆衛生の向上を図り、併せて公共水域の水質の保全に資することを目的とする。これにより、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。</p>																
<p>2 事業の目標</p> <p>公共下水道(公共下水道・特定環境保全公共下水道)の普及率は、平成20年度末現在で34.7%であり、平成23年度末に36.9%を目標とする。 (普及率=処理区域内人口32,033人÷住民基本台帳人口92,224人)</p> <p>※大仙市全体の下水道(公共・特環・特排・農集・浄化槽)の普及率は70.1%(20年度末) (秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%)</p>																
<p>3 事業の概要</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 70%;">事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大曲地域</td> <td style="text-align: center;">62,000</td> <td> 管渠工事L=338m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=418m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) 受益者負担区調査(富士見町、幸町、大花町、小貫高畑、川目ほか) 補償費 </td> </tr> <tr> <td>神岡地域</td> <td style="text-align: center;">16,000</td> <td>管渠工事L=224m(北檜岡地内)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">78,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区 分	事業費	事 業 概 要	大曲地域	62,000	管渠工事L=338m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=418m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) 受益者負担区調査(富士見町、幸町、大花町、小貫高畑、川目ほか) 補償費	神岡地域	16,000	管渠工事L=224m(北檜岡地内)	合 計	78,000	
区 分	事業費	事 業 概 要														
大曲地域	62,000	管渠工事L=338m、(飯田町、福見町、戸巻町地内等) 実施設計L=418m(小貫高畑字中荒所地内ほか) 地形測量及び地質調査(小貫高畑字中荒所地内ほか) 受益者負担区調査(富士見町、幸町、大花町、小貫高畑、川目ほか) 補償費														
神岡地域	16,000	管渠工事L=224m(北檜岡地内)														
合 計	78,000															
<p>4 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 15%;">国県支出金</th> <th style="width: 15%;">市債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">78,000</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">69,300</td> <td style="text-align: center;">3,700</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	78,000	0	69,300	3,700	5,000		
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源												
78,000	0	69,300	3,700	5,000												

事業説明書

新規・継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】 特定環境保全公共下水道事業費(補助分) 【説明項目】 特定環境保全公共下水道事業費(補助分)について																
【予算額】 【21年度】 101,830 千円 【22年度】 97,130 千円 【増減額】 △ 4,700 千円																
1 事業の目的 全国的な水準との格差がある下水道整備を進めることにより、地方でも進みつつある水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、市民の公衆衛生の向上を図り、併せて公共水域の水質の保全に資することを目的とする。これにより、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。																
2 事業の目標 公共下水道(公共下水道・特定環境保全公共下水道)の普及率は、平成20年度末現在で34.7%であり、平成23年度末に36.9%を目標とする。 (普及率=処理区域内人口32,033人÷住民基本台帳人口92,224人) ※大仙市全体の下水道(公共・特環・特排・農集・浄化槽)の普及率は70.1%(20年度末) (秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%)																
3 事業の概要 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 70%;">事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中仙地域</td> <td style="text-align: center;">30,800</td> <td>管渠工事L=209.0m(北長野地内未供用区域) 実施設計・地形測量等L=209m(北長野地内未供用区域) (他に人件費分1,500千円)</td> </tr> <tr> <td>南外地域</td> <td style="text-align: center;">66,330</td> <td>管渠工事L=627m(梨木田・上野地内) (他に人件費分2,470千円)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">97,130</td> <td>(他に人件費分3,970千円)</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	事業費	事 業 概 要	中仙地域	30,800	管渠工事L=209.0m(北長野地内未供用区域) 実施設計・地形測量等L=209m(北長野地内未供用区域) (他に人件費分1,500千円)	南外地域	66,330	管渠工事L=627m(梨木田・上野地内) (他に人件費分2,470千円)	合 計	97,130	(他に人件費分3,970千円)
区 分	事業費	事 業 概 要														
中仙地域	30,800	管渠工事L=209.0m(北長野地内未供用区域) 実施設計・地形測量等L=209m(北長野地内未供用区域) (他に人件費分1,500千円)														
南外地域	66,330	管渠工事L=627m(梨木田・上野地内) (他に人件費分2,470千円)														
合 計	97,130	(他に人件費分3,970千円)														
4 財源内訳 <div style="text-align: right;">(単位：千円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 15%;">国県支出金</th> <th style="width: 15%;">市債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 40%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">97,130</td> <td style="text-align: center;">47,500</td> <td style="text-align: center;">44,400</td> <td style="text-align: center;">4,800</td> <td style="text-align: center;">430</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	97,130	47,500	44,400	4,800	430		
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源												
97,130	47,500	44,400	4,800	430												

事業説明書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】 特定環境保全公共下水道事業費(単独分)				
【説明項目】 特定環境保全公共下水道事業費 (単独分) について				
【予算額】				
【21年度】 151,380 千円		【22年度】 39,539 千円		【増減額】 △ 111,841 千円
1 事業の目的 全国的な水準との格差がある下水道整備を進めることにより、地方でも進みつつある水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、市民の公衆衛生の向上を図り、併せて公共水域の水質の保全に資することを目的とする。これにより、健康で文化的な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図る。				
2 事業の目標 公共下水道（公共下水道・特定環境保全公共下水道）の普及率は、平成20年度末現在で34.7%であり、平成23年度末に36.9%を目標とする。 (普及率=処理区域内人口32,033人÷住民基本台帳人口92,224人) ※大仙市全体の下水道（公共・特環・特排・農集・浄化槽）の普及率は70.1%（20年度末）				
3 事業の概要 (単位：千円)				
区 分	事業費	事 業 概 要		
中仙地域	10,000	管渠工事 L=81m(北長野地内未供用区域) 実施設計・地形測量 L=81m(北長野地内未供用区域) 補償費		
南外地域	29,539	管渠工事 L=344m(梨木田・上野地内) 全体計画・認可変更ほか 地下水調査(上野地内) 補償費(井戸枯渇補償費)		
合 計	39,539			
4 財源内訳 (単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
39,539		35,000	1,923	2,616

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】 農業集落排水事業費（補助分） 【説明項目】 農業集落排水事業費（補助分）について				
【予算額】 【21年度】 751,500 千円 【22年度】 611,682 千円 【増減額】 △ 139,818 千円				
1 事業の目的 農業用水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与すると共に健康で活力ある市民社会の形成を図る。				
2 事業の目標 農業集落排水の普及率は、平成20年度末現在で22.0%であり、平成23年度末には23.9%を目標とする。 （普及率＝処理区域内人口20,280人÷住民基本台帳92,224人） ※大仙市全体の下水道（公共・特環・特排・農集・浄化槽）の普及率は70.1%（21年度末） （秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%）				
3 事業の概要				
（単位：千円）				
			事業概要	
区分	事業費			
（角間川地区）	（総事業費） 863,550	処理計画戸数 144戸	処理計画人口 580人	
		事業計画年度 H20～H24	供用開始予定時期 H24.10初旬	
大曲地域	253,761	処理施設工 N=1箇所（土木工事下部工） 管路施設工 L=1,040m（中野、木内地内） 測量試験費 一式 用地補償費 A=50㎡ 上水道補償		
（三本扇地区）	（総事業費） 1,351,380	処理計画戸数 188戸	処理計画人口 910人	
		事業計画年度 H18～H23	供用開始予定時期 H23.10初旬	
太田地域	357,921	処理施設工 N=1箇所（建築工事、機械・電気設備工事） 管路施設工 L=580m（三本扇地内） 測量試験費 一式		
合計	611,682	（他に人件費4,900千円）		
4 財源内訳				
（単位：千円）				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
611,682	302,000	276,200	8,975	24,507

事業説明書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】	農業集落排水事業費（単独分）				
【説明項目】	農業集落排水事業費（単独分）について				
【予算額】					
【21年度】	57,940 千円	【22年度】	47,100 千円	【増減額】	△ 10,840 千円
1 事業の目的					
農業用用水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与すると共に健康で活力ある市民社会の形成を図る。					
2 事業の目標					
農業集落排水の普及率は、平成20年度末現在で22.0%であり、平成23年度末には23.9%を目標とする。 （普及率＝処理区域内人口20,280人÷住民基本台帳92,224人）					
※大仙市全体の下水道（公共・特環・特排・農集・浄化槽）の普及率は70.1%（21年度末） （秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%）					
3 事業の概要					
（単位：千円）					
区 分	事業費	事 業 概 要			
(角間川地区)	(総事業費) 80,000	処理計画戸数 144戸	処理計画人口 580人		
		事業計画年度 H20～H24	供用開始予定時期 H24.10初旬		
大曲地域	21,700	管路施設工 L=270m（中野、木内、布晒地内）			
		測量試験費 一式			
		補償費 上水道補償			
(三本扇地区)	(総事業費) 73,049	処理計画戸数 188戸	処理計画人口 910人		
		事業計画年度 H18～H23	供用開始予定時期 H23.10初旬		
太田地域	25,400	管路施設工L=390m（三本扇地内）			
		測量試験費 一式			
合 計	47,100				
4 財源内訳					
（単位：千円）					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
47,100		44,300		2,800	

事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 建設部 下水道課

【事業名】 浄化槽設置整備事業費補助金

【説明項目】 合併処理浄化槽事業費補助金について

【予算額】

【21年度】 70,440 千円 【22年度】 98,200 千円 【増減額】 27,760 千円

1 事業の目的

公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保を図り、併せて公共水域の水質保全に資するため、補助金を交付することにより、短期に着実な整備を図ることができる合併処理浄化槽の整備を促進することを目的とする。

2 事業の目標

合併処理浄化槽の普及率は、平成20年度末現在で13.4%であり、平成23年度末に14.7%を目標とする。(普及率=処理区域内人口12,370人÷住民基本台帳人口92,224人)

※大仙市全体の下水道(公共・特環・特排・農集・浄化槽)の普及率は70.1%(20年度末)
(秋田県平均76.7%、全国平均は84.8%)

3 事業の概要

(単位：千円)

22年度予算計上数 5人槽48基、7人槽150基、10人槽2基

基準分	5人槽 基準額352		7人槽 基準額441		10人槽 基準額588		合 計	
	基数	金 額	基数	金 額	基数	金 額	基数	金 額
大仙市全域	48	16,896	150	66,150	2	1,176	200	84,222

※基準額の3分の1ずつ国・県・市町村が負担する。

嵩上げ分 (基準額の市 分の半分)	5人槽 嵩上単価59		7人槽 嵩上単価73		10人槽 嵩上単価98		合 計	
	基数	金 額	基数	金 額	基数	金 額	基数	金 額
	48	2,832	150	10,950	2	196	200	13,978

予算額合計(基準額+嵩上げ額) 98,200千円

※補助額内訳	基準額	基準額の負担内訳			嵩上額	補助額 (基準+嵩上)	予定 基数	予算計上額
		国	県	大仙市				
5人槽	352	117	117	118	59	411	48	19,728
7人槽	441	147	147	147	73	514	150	77,100
10人槽	588	196	196	196	98	686	2	1,372
※国・県・市は基準額の3分の1を負担。さらに、その2分の1を市で嵩上げ								98,200

4 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
98,200	56,148			42,052

(国28,074 県28,074)